



市民の声がとおる議会 市民の声がとおる県政・市政を！

ふじしろ政夫 と共に県政・市政を変える会ニュース

発行：ふじしろ政夫と共に市政を変える会

2010年8月号

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

TEL&FAX 047-445-9144

E-mail: masao.fujishiro@zo.wakwak.com

ホームページ: http://e-kamagaya.com/

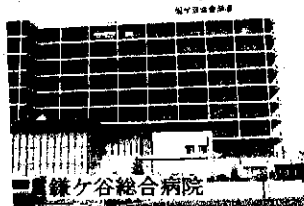
鎌ヶ谷の地域医療と「千葉県の保健医療計画」

市議会議員 ふじしろ政夫

真夜中2歳の子供が高熱を出し、真っ赤な顔をしている…どうしよう。病院へ…診てくれる場所は？
鎌ヶ谷総合病院では夜中の小児科医による診療は週一日のみ。小児科の先生に診てもらいたいときは、周辺医療機関を探しまわらなければなりません。また、高齢者の独り暮らしが増えています。「夜中、ふっと目を覚ました時、何かあったらどうしようと不安にかられます」とおばあちゃんの声。しかし住民の不安に十分応える“緊急連絡システム”がつけられていないのが現状です。

鎌ヶ谷市の医療の現状

鎌ヶ谷市の医療機関は病院5ヶ所、診療所52ヶ所、医師127名、看護師459名です。人口10万人当たりの全国平均と比べて30%以上少ない状態です。



248床のベッド数の“鎌ヶ谷総合病院”が小児救急を含め、24時間365日の救急病院として開院しましたが、いまだに小児科、産科、耳鼻咽喉科が整っていません。往診もしてくれる在宅療養支援診療所も3ヶ所です。

かかりつけ医と高度医療病院との病診連携もまだ十分につけていません。10万7千人鎌ヶ谷市民の“生命”と“健康”を守る地域医療をどうつくり上げていったらいいのだろうか・・・鎌ヶ谷市は千葉県の保健医療計画における東葛南部二次医療圏の内に位置しています。それ故千葉県の医療計画が鎌ヶ谷市の地域医療整備に大きくかかわってきます。

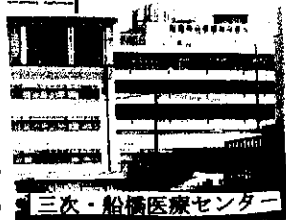
千葉県の医療計画

千葉県の医療計画は、平成18年に5カ年計画としてつくられました。平成20年には一部改正され“循環型地域医療連携システム”の構築が提唱されました。現在平成23年度以降の5カ年計画が医療審議会で検討されています。4疾病(ガン、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)4事業(救急医療、災害時における医療、周産期医療、小児救急医療を含む小児医療)に係る“医療連携システム”がどの程度進んでいるか調査されました。病院と診療所間の紹介、逆紹介は70~80%実施されており、連携パスへの一歩は踏み出されている様です。しかし、急性心筋梗塞や糖尿病で連携パスを実施している病院は2.3%運用予定が15%前後と少ないのは、その科目の診

療をしていないので出来ないという実態がアンケート結果から明らかになりました。今後地域内の医師、病院、診療所においてそれぞれの科目を荷える体制づくりが急がれるのではないかと思います。

鎌ヶ谷市の地域医療をつくっていく為に

千葉県は人口10万人当たりの病院数4.8(全国平均7.1)ベッド数539.9(全国平均714.4)診療所60(全国平均76)と医療資源が絶対的に少ないが故に“循環型地域医療連携システム”を模索しています。更に資源の少ない鎌ヶ谷市はどうするのか？20km²という小さな面積を逆手にとって船橋・市川・松戸・柏・白井の医療資源をどう相互活用していくかが問われているのではないかと思います。小児科の初期救急機関がないのは東葛南部では鎌ヶ谷市のみです。これらの課題解決の為に住民参加による“地域医療を考える委員会(仮称)”をつくりあげ議論していく必要があります。“いつでも、どこでも、誰もが必要な医療・介護・福祉が受けられる地域医療”をつくっていきましょう！



当選

清水市長三期目へ

27650票の票を得、清水市長は市民から3期目を託されました。“くらし安心・実感の街”かまがやをつくっていくと約束しました。安心して子育て出来る街、高齢者も障がい者も安心して暮らせる街、成田スカイアクセス開通を活かした街づくりを主張しました。これらの課題は市民が自づから街づくりをしていける“住民自治”の街づくりによってのみ実現できます。市民自治の鎌ヶ谷を



どうなるの？「ちば」の教育



千葉県は「教育振興基本計画」をつくりました。“市民・県民の声を聞かない議論しない、一方的な考え方の人々の意見だけをまとめてつくったもの”“あまりにも現実を見ていない”と言った市民から批判が起っています。三宅晶子千葉大教授、浅尾高校教員らによるシンポジウムが開かれました。

三宅さんは「千葉県の教育を元気にする」といっているが、教育現場での格差と貧困への解決を抜きには語れないのではと厳しく批判しました。偏差値 39 以下の高校では 3 人に 1 人が授業料減免措置を受け 4 人に 1 人が卒業できない状況、クーラー設置されているのは偏差値 49 以上の学校だけという現状をどう解決していくかが課題だと主張しました。

“ボランティア活動”“千葉県らしい道德教育”も自主性や個人の尊厳を尊重しておこなわれるものでなく、強制的におし進めようとしている点も指摘されました。極めつけは“親学”の導入です。モンスターペアレント、赤ん坊を放置する親などから親にも教育が必要と言われますが、県が導入しようとしている親学とは「父親に権威がないことが、子供の健全育成を妨げている。一番風呂はお父さん・主人の座る席がある・父親には子や母親が食べられない立派な一品を余計に出すことが必要です」といった古い古い家父長的権威が親の理想とされています。これでいいのだろうか・・・

県立高校の浅尾先生からの現場報告は衝撃的でした。偏差値 37 以下の県立高校が 1995 年はゼロ、2005 年には 17 校。卒業率は 74.7%、授業料減免率は 27%。社会の貧困と格差は教育格差となり、その教育格差が貧困を生み出す。貧困の連鎖がすでに固定化されているとのこと。“生徒が自己肯定感を持てる教育、お金がないという理由で進学を断念しなくていい社会”が求められます。



ピースサイクル 2010

下総基地・鎌ヶ谷市役所へ

毎年自転車リレーで全国各地へ平和のメッセージを伝えているピースサイクル。今回 5 回目の下総基地への申し入れ。①NLP 反対②航空機騒音をなくして下さい③都部落下など事故への注意④P3C の次期ジェット機 X-P1 の情報公開⑤5/28 日米共同声明において自衛隊施設の米軍使用を言及しているが下総基地の米軍使用は絶対反対。を申し入れました。



下総基地で申し入れ

新鎌ヶ谷えきフェスタ



7/17 成田高鉄道が開通しました。日暮里～第二空港に 36 分。成田空港へのアクセス問題解決の為、成田空港線がつくられたのです。新鎌ヶ谷駅前ロータリーで市民・京成・北総・新京成・商工会がバザー、ミニSL、コンサート、笑福踊りと楽しくフェスタを開き新型スカイライナーの開通を祝いました。

空港線 51.4k のうち 33k は北総鉄道の営業部分。北総運賃は 4.9% 値下げされたが、毎年自治体から 3 億円の税金を投入する形になっています。

白井市議会がこの措置へ NO をつきつけました。時速 160k の新型スカイライナーの開通という“明”のうらに北総沿線住民には異常な高運賃のおしつけという“暗”が存在しています。



今年の国勢調査・・・全て封入です・・・

4 年ごとの国勢調査の年です。10/1 現在の全住民調査であり、人口減少化での本格的な調査。先般、総務省統計局で意見交換をしました。今回は前回の反省から①十分個人情報に配慮すること②調査員の方々と住民とのトラブルを解決することに対策がとられたとのこと。調査票はすべて封入できるようにし、郵送もインターネット回答も可能としました。10/31迄コールセンターも開設され住民への疑問などに答える体制がとられます。今回は就労の実態調査に重点がおかれている様です。法律に基づく調査とはいえ個人情報の保護に十分に配慮されるべきだと思います。

真夏の国史跡・小金牧捕込



- ★市民自治・福嶋移動講座「議会基本条例」について
9/5(日) 13:30～ 松戸勤労会館 500 円
- ★市民夏祭り 8/28(土) 市制公園
- ★法律弁護士無料相談 要予約 ふじしろ市議まで
9/25(土)・10/30(土)・11/27(土) 13:00～
- ★茶楽会 毎週金曜日 13:00～ トライ

一 県政を市民の手に